学校教育目標『自立を育む』
東金子中学校だより

青き地球を憧れて

令和６年１２月　２日発行
電　話　２９６２－７１１８
ＦＡＸ　２９６２－８２９７
発行責任者　入間市立東金子中学校長 飯嶌　一博 生徒数【1年68名 2年93名 3年88名 青空7名 合計256名】

保護者・地域の皆様

昨年度「今年は、さいたま市で１日の最高気温が２５℃を超えた日が１５０日に迫り、１年の約半分が夏日を超えるという暑い１年でした。」と書きました。しかし、今年はとうとう１５０日を超え、１５４日となりました。１０年前の２０１４年より３０日以上（１か月以上）増えています。異常気象分析検討会の中村尚会長は「今年の暑さも異常気象と言って差し支えない」と話しています。異常が常に感じてしまうこともあります。それでも、１２月の声を聞くとともに、校庭の木々を見ていると少しずつ季節は前に進んでいるように感じられるようになってきました。行事が多い２学期も残り１４日です。生徒たちは、合唱コンクール・体育祭等を通して仲間と最後まで頑張りきること、自分と相手の気持ちを考えながら協力することの大切さ等、多くのことを学び成長しました。生徒たちには、２学期を学習面や生活面等でしっかりと振り返らせ、新たな気持ちで新年を迎えられるように指導して参ります。よい年が迎えられるようにご家庭でも生徒への言葉かけをよろしくお願いします。

入間市中学生駅伝競走大会　１０月１８日

当日は小雨交じりの天気の中、黒須運動公園で駅伝大会が実施されました。選手達は、夏休みからプラスアルファの活動である駅伝練習に励んできました。この駅伝練習を通じて、苦しくても頑張る経験や襷を待っている仲間・チームのために頑張りきる経験を積むことができました。この経験はきっと今後の人生の糧になります。結果は、**男子Ａチーム８位**　Ｂチーム１４位　**女子Ａチーム５位入賞**　Ｂチーム１１位　**区間賞　男子５区**　でした。

東金子地区近隣助け合い活動推進会（入間台団地声かけ運動）１０月５日

東金子地区の人口は約１５９００人、また、６５歳以上の人口は約５４００人で高齢化率は約３４％です。そして、高齢化率は入間市内で１・２位を争っています。「認知症」は、誰にでも起こりうる脳の病気です。また、高齢になるほど、認知症になる可能性は高くなります。東金子地区で行われた「認知症声かけ運動」に今年も中学生がボランティアとして参加しました。認知症の人が道に迷ってしまったとき等地域の人が優しく声をかけてあげられる住みよいまちづくりの第一歩として、地域住民として、認知症の方への声かけ模擬体験に参加しました。参加した生徒たちには、この経験を地域のために生かしてほしいです。

声かけの基本：①驚かせない、②急がせない、③自尊心を傷つけない、とのことです。

校長面接　１０月２日～１１月２６日

進路選択に向けて３年生に校長面接を実施しました。全員に、
・中学校時代に力を入れたこと、頑張ったこと。　・東金子中学校の誇れるところ。
・将来どのような大人になりたいか。　・一日の勉強時間
について質問しています。

生徒たちは、面接に向けて自分の中学校生活を振り返り、よく考えて質問に答えることができています。また、２０２７年度（現中学１年生）より県立高等学校では全校で**「学校内外での活動や意欲を自らの言葉で表現する自己評価資料」を作成し、面接を実施する**と新聞等で報道されているところです。自分のことを自分の言葉で表現することは、大切になっていきます。

３年生進路保護者会　１０月２２日

１１月に実施される三者相談では、３年生は「進路選択」についての相談となります。そこで、生徒・保護者の皆様とともに進路選択に関する情報について共有してから三者相談に例年臨んでいます。入試関係の大きな変更点として**今年度より公立高等学校は、全ての高校で出願が電子化されます。**インターネットに接続できる環境及びプリンターを使用して出願する方法に変更されます。インターネットに接続できる環境があれば、自宅等から入力することができます。しかし、そのためには**志願者登録等事前準備が必要となります。初めての試みとなります。間違いが起こらないように十分注意して出願をしたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いします。**

平和を願う講演会　１０月３０日

講師に中島寿々江（なかじま　すずえ）先生をお招きして「平和を願う講演会」を今年も開催しました。先生は、広島の原爆の語り部として、多くの小・中学校でご講演をされています。

広島市への原子爆弾投下は、第二次世界大戦末期の１９４５年（昭和２０年）８月６日です。今から７９年前になります。この核攻撃により当時の広島市の人口推定３５万人のうち９万～１６万６千人が、被爆により２～４か月以内に死亡したとされています。**「その時の悲惨な経験と戦争の残酷さを後生に生きている人たちに伝えることが私の使命である。」というお考えでお話してくださいます。文字通り命を懸けての講演です。抑揚のある大きくて張りのある声で情景が目に浮かぶように話をされます。**現在このように、実際に戦争を経験された方のお話を直接聞くことは難しくなってきています。当日は、生徒にとって貴重な経験となりました。中島さんの力強い訴えかけをよく聞き、今後の日本や世界のあり方について考えることができました。

チャレンジザ部活　１１月９日

今年度より、１１月に変更しての実施となりました。今までは７月の暑く、雨の多い時期でしたが、参加者の健康を考えて変更されました。今回も全ての部活動で実施することができました。ＰＴＡ活動は保護者・先生方の協力なくしてできません。また、この活動を楽しみに待っている保護者も多いようで、毎年陸上部とのリレー対決を楽しみに参加していただいている保護者の方もいます。

入間市防災訓練　１１月１０日

石川県では今年の元旦に能登半島地震が発生しました。その後、９月２１日から２２日にかけて川の氾濫や土砂崩れが相次いだ記録的な大雨が降りました。ことし1月の地震で被災し、生活再建を目指す中で今回、大雨の被害を受け、“二重被災”とも言われる厳しい状況に直面しています。また、１１月１０日には沖縄では経験したことがない大雨が降りました。世界・日本各地で異常気象による自然災害が発生しています。そのような中、今年の防災訓練では、多くの地域の方々が参加していました。本校からは**５名の生徒が参加し、避難所の受付の体験をさせていただきました。**災害が起こったときに頼れるのは若い力です。地域の活動に積極的に参加することは大切です。

３年生育児体験学習　１１月１２日

江戸時代の子育てについての言葉で、「三つ心、六つ躾、九つ言葉、十二文、十五理で末決まる。」とあります。三つ心とは、「生まれてから３歳までに十分に愛情を注いで、人に思いやりのある子に育てなさい。」という意味です。

本校では、１年生の時から「命の尊さを知り、自分と他人を大切にする授業」を計画的に行っています。その学習の一環として、育児体験授業を行いました。命のバトンを繋げる責任についての自覚を高めるとともに、命の大切さについてあらためて学習し、豊かな人間性を育む一助となれば、と考えています。沐浴体験では、どの生徒も赤ちゃんの人形を丁寧に優しい手つきで沐浴させていました。妊婦体験では、生徒たちは赤ちゃんの重さに驚いていました。「お母さんのすごさ」を感じたことと思います。体験活動中、体育館は穏やかで温かい雰囲気となりました。また、今年も講師として入間市母子愛育会の皆様にご指導いただきました。東金子地区の方々も多く、地域の方に学校を知っていただく機会ともなりました。

生徒の皆さんは不便な思いをしたこともあったと思いますが、無事に「**東金子中学校校舎外壁等改修工事**」が終了しました。保護者の皆様にも工事期間中ご不便をおかけしました。これで外壁のひび割れ等がなくなり、雨漏りの心配もなくなりました。外観を見ると新築の校舎のように見えます。

来年度は、体育館の改修が入る予定です。

１２月の行事予定　※予定は変更になる場合があります。

★ 学校諸経費引落日：１０日（火）、２０日（金）★

☆ スクールカウンセラー勤務日：3日（火）、１０日（火）、１７日（火）☆

４（水）	３年・三者進路相談（～６）	１８（水）	１年・２年・青空学級　保護者会
７（土）	ＰＴＡ資源回収	１９（木）	学期末短縮日課（～２３）
１３（金）	３校合同保健委員会（地区センター）	２４（火）	終業式

学校閉庁期間のお知らせ

１２月２９日（日）～１月３日（金）となります。

学校の電話は終日、自動音声対応（録音機能なし）になります。